

♪「アコーディオン ミニコンサート」 ぶらり訪問記♪ 秋川アコーディオン同好会

↓オープニングの全体合奏「ドレミの歌」の一コマ

2009年3月8日(日) 14:00開演

会場 秋川ふれ合いセンター ふれ合いホール
JR五日市線「東秋留」駅より徒歩約20分

出演者：アコーディオン(9名)

指揮：木下そんき

入場無料

■東京のはずれあきる野市、拝島駅から二つ目の東秋留駅を降り住宅の中を数分歩き五日市街道へ出る。街道の両側には畑が広がっていてブロッコリーや白菜が植わっていた。地図を頼りに歩いていくと手入れの行き届いた広大な公園が現れ家族連れの姿や若いカップルがテニスを楽しんでいた。公園の路地を歩いていくと公園の中に都立の陸上競技場、左に体育館、ふれ合いセンターはその先に位置していた。静かで環境の良いところです。

■オープニングは全員合奏で「ドレミの歌」、29年続けてこられたのでメンバーもかなり入れかわったとのこと。まず最初は、5人のアンサンブル「山小舎の灯」(下の写真参照)

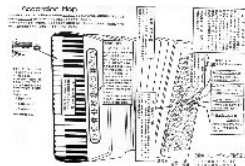


■プログラムは、その後独奏が5人続き、アンサンブルを入れて休憩。後半はみんなで歌う時間をとり独奏が4人アンサンブルを入れて合奏2曲の構成でした。独奏の1番手は「津軽のふるさと」、次は「カッコワルツ」テンポもいいし難しいトリルのところはきれいな音で楽しめました。3番手は「あざみの歌」本日初公開だそうです。間奏もしっかり音が出ていました。安心して目をつぶって聴きました。4番目は「手紙～拝啓十五の君へ」、NHK音楽コ



ンクール中学生の部の課題曲だそうです。中学生から教わったとのこと。初めて聴く曲でした。春の風のように温かみがあり、小川の中ではめだかが泳いでいるような流れが印象に残りました。5番目は「飲めや友よ」ピアホールで流れるような曲です。落ち着いて鍵盤をしっかり押し込んだ演奏で音も後ろまで通る素敵な演奏でした。全般の最後は「男はつらいよ」寅さんの性格なのかみんなリラックスして柔らかいおびのある楽しい演奏でした。

■プログラムにアコーディオンの構造がわかるチラシ(写真参照)を入れて休憩時間にアコーディオンに触ってみる時間を取るなど仲間を増やす努力はとても良いアイデアだと思います。



■後半は、「みんなで歌いましょう」と「花」「オーシャンゼリゼ」など配られた歌詞カードを参考に5~6曲歌った。後半最初の独奏はケーナの演奏で「花祭り」習い始めとのことで太鼓と、アコがベースで応援。その後「ラ・クンパルシータ」「チムチムチェリー」「ドミノ」と続くが皆さんアコ歴の長い方なのでさすがです綺麗な演奏で楽しませてもらいました。

■最後は6人のアンサンブルで「おぼろ月夜」、全員合奏「シバの女王」、「上を向いて歩こう」(下の写真参照)で締めくくりました。

□練習会場が3月で使えなくなるそうで、悩みはどこでもあるようです。(文：乙津)



